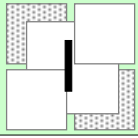


第2部 めざすべき都市像

Ⅰ めざすべき都市像



めざすべき都市像

基本的な考え方

歩きたくなる高津

～歴史・文化・水と緑がキラリと輝く持続可能なまち～

- 1 市民の視点、生活者の視点に立った、歩いて暮らせるまちをめざします
- 2 起伏ある地形を活かしたまちを育みます
- 3 生活の場と働く場の調和が取れた、ものづくりのまちを育みます
- 4 まちの記憶と歴史を大切にしたまちを育みます
- 5 地域に根ざした文化が街かどに花開くまちを育みます
- 6 いきいきとしたコミュニティを育みます

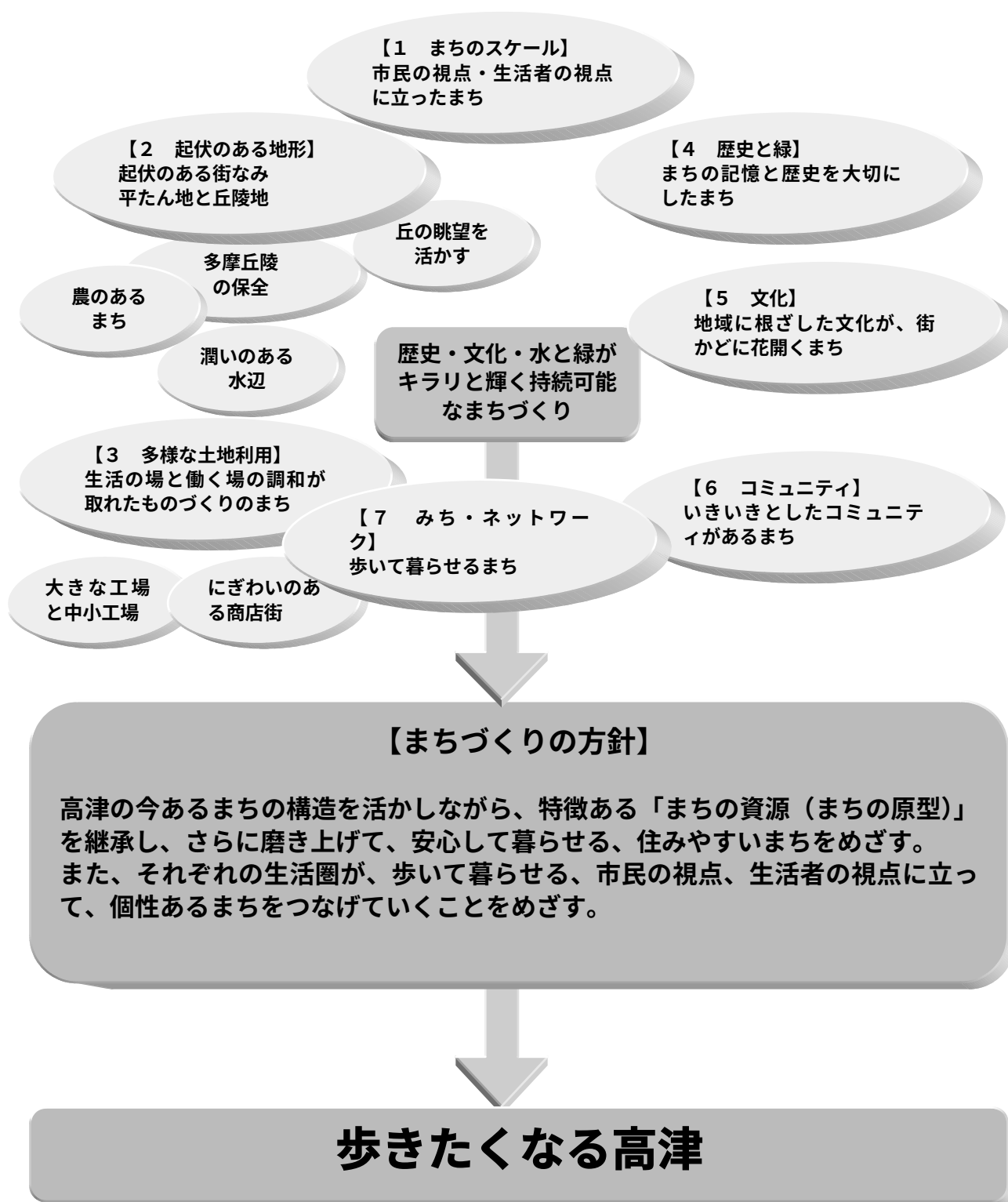
<都市像の背景・視点>

- ・高津区は、川崎市のほぼ中央に位置し、「かわさき」のまちの特徴が凝縮されたまちです。
- ・母なる多摩川や二ヶ領用水に形づくられた「平たん地」と多摩丘陵の一角を担う「丘陵地」で構成され、これらをつなぐ多摩川の崖線や起伏ある地形が特徴となっています。
- ・土地利用をみると、溝口を中心としたにぎわいのある商業地と、川崎の「ものづくり」の中心であるＪＲ南武線沿線の工業地域、多摩川沿いに広がる準工業地域、さらに、平たん地に形成された住宅地と、丘陵地に新たに形成された住宅地が広がっています。そして、都市における貴重な緑としての農地も残されています。
- ・大山街道や二ヶ領用水、橘の古墳群、郡衙（ぐんが）推定地など「まちの記憶」を残す歴史遺産に恵まれ、まちでは、音楽を中心とした市民の「文化」が育まれています。
- ・コミュニティも、古くから高津区に居住する住民と新たに高津区に居住する住民等、多様な人々によって構成されています。

<地形の特徴図>



■まちづくりの視点



1 市民の視点、生活者の視点に立った、歩いて暮らせるまちをめざします

- ・高津区のまちは、建物と周辺環境との調和などによるまちの景観への配慮があります。また、人々が助け合い、防災や防犯に対する意識の高い、安全なまちづくりなどが進んだ、市民の視点、生活者の視点に立った、歩いて暮らせるまちをめざします。
- ・幹線道路については、主要な道路を整備し渋滞の解消を図るとともに、安全・快適に歩行者や自転車が通行できる道路整備をめざします。
- ・散策したくなるような道路空間が整備され、魅力あるまちの資源がつながっているまちをめざします。



散策したくなる空間

2 起伏ある地形を活かしたまちを育みます

(1) 多摩丘陵の保全

- ・多摩丘陵の多摩川崖線の斜面緑地など、貴重な緑の財産を次世代に継承していくため、市民が憩い、親しむことができる環境を市民との協働により保全し、自然と共生できるまちづくりをめざします。
- ・平たん地からは起伏のある丘陵地を望め、坂を上がると眺めの良い丘があり、景色が開け、眼下には緑が広がる、自然豊かな景観に優れたまちを育みます。
- ・良好な斜面緑地は、地権者の協力により、憩いの場、楽しい市民活動の場、さらに、コミュニティの再生の場として、保全に努めるとともに、市民の手による維持管理活動を支援します。

(2) 農のあるまち

- ・身近に農地が広がるまちをめざし、優良な農地は生産緑地地区に指定し保全に努め、農のあるまちを育みます。
- ・市民が農にふれあう場の設置や援農ボランティア等による農への参加を支援し、市民が農に親しむことのできる農のあるまちをめざします。

(3) 潤いのある水辺

- ・多摩川は、スポーツ・レクリエーションや市民の憩いの場、環境学習の場として、自然環境の保全や河川景観の保全に努め、潤いのある水辺空間を市民と共に育みます。
- ・平瀬川や二ヶ領用水、矢上川の市内河川・水路は、身近な自然環境として、潤いのある水辺空間を市民と共に育みます。

3 生活の場と働く場の調和が取れた、ものづくりのまちを育みます

(1) ものづくりのまち

- ・工業地域や準工業地域ではものづくりのまちとして、高度な生産の基盤技術を継承発展させながら、研究開発等の新しい産業を創出しつつ、生活の場と働く場の調和をめざします。

(2) 調和の取れた居住環境

- ・それぞれの建物のデザインや色彩が優れ、周辺環境とも調和した、落ち着いた街なみや良好な居住環境のあるまちを育みます。

(3) にぎわいのある商店街

- ・誰もが安心して買物等ができる生活空間であり、心身ともに健康な生活をつくり出し、居心地のよいコミュニティの場として、にぎわいのある商店街を共に育みます。

4 まちの記憶と歴史を大切にしたまちを育みます

- ・水や緑の豊かな自然環境を保全し、歴史的文化的資源の魅力を高めるため、橘樹郡衙（たちばなぐんが）推定地や円筒分水などの点在するまちの資源をつなぐ散策路の設定や、特色ある自然環境を活かした民有地緑化の活動を支援します。
- ・歩いて暮らせる街なかに、木漏れ日のある森や公園、神社や寺院などの鎮守の森等があり、これらの緑や二ヶ領用水などの水辺空間を散策路でつなぐ、水と緑のネットワーク形成の活動を支援します。

5 地域に根ざした文化が街かどに花開くまちを育みます

- ・音楽大学があり、音楽活動を行う若者が多く集まるまちの特徴を活かして、学生や市民の文化活動をつなぎ、文化を発信するまちを育みます。
- ・駅前広場やコミュニティの拠点に、アートや音楽があふれるまちを育みます。
- ・大山街道の歴史的雰囲気や、庶民的な裏道の魅力が残るまちをめざします。

6 いきいきとしたコミュニティを育みます

- ・市民と行政との協働により、市民がいきいきと活動できるまちづくりの展開をめざします。
- ・町内会・自治会を単位とした、コミュニティ活動の場を確保するとともに、地域の住民等の活発なまちづくり活動を支援し、コミュニティを育みます。